

熊本水平社創立100年

地域人権教育指導員 平井靖彦

熊本水平社創立まで

今から101年前の3月3日に京都岡崎公会堂で、部落差別をなくそうと全国水平社創立大会が開催されました。その時「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と読み上げられた「水平社宣言」は世界最初の被差別当事者(理不尽な差別を受けている人)による人権宣言といわれています。そして今年の7月18日に、熊本水平社は創立100年を迎えました。部落解放運動の炎が燎原の火のごとく広がり、1年後、熊本にまで届いたのでした。

水平社に集まった人々たち

最初に水平社宣言について「被差別当事者による人権宣言」と書きましました。世界には世界人権宣言をはじめ、多くの人権についての宣言が存在しています。そのほとんどは国や国連などの機関が示したものです。一方、水平社宣言は、当事者酷な部落差別が存在する中、被差別部落の皆さんが自ら宣言したものです。それもあって、水平社創立大会には女性や子ども、労働者や小作農民など、多くの被差別状況の人が参加しました。その後も連帯してそれぞれの解放運動を展開しました。この運動の方向は現在も維持され、障がい者差別や女性差別の解消に

水平社宣言には「人間を尊敬することによって自ら解放せんとする」との一節があります。人を尊敬することで差別をなくしていくよう、連帯していくよう、と力強く述べられています。また、宣言の前に添えられた「綱領」には「吾等は人間性の原理に覚醒し人類最高の完成に向かって突進す」とうたわれています。「人間の原理」とは何でしょう。「人類最高の完成」とはどのような状態なのでしょう。皆さんならどう答えますか。

熊本水平社創立から100年。残念ながら部落差別は現在も根深く残っています。人が作り出した差別は人がなくしていくかなくてはなりません。今を生きる私たちの使命です。部落差別をはじめ、あらゆる差別のない社会をとにもめざしましょう。

農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します  
市の農業委員会を構成する農業委員と農地利用最適化推進委員は、令和6年3月21日(木)に任期満了を迎えます。農業委員会では、新たに農業委員や農地利用最適化推進委員に立候補する人を募集します。  
推薦・募集受付期間  
8月3日(木)～9月4日(月)  
募集人数  
農業委員 19人  
農地利用最適化推進委員 30人  
任期  
令和6年3月22日(金)～令和9年3月21日(木)(3年間)  
推薦・応募方法  
推薦・応募書類を持参か郵送で、市農業委員会事務局、各支所市民生活課地域・農政係に提出してください。職務内容や応募資格など、詳しくはホームページをご覧ください。  
募集要項と推薦・応募書類は、市農業委員会事務局(市役所2階)、各支所市民生活課地域・農政係で配布します。ホームページからもダウンロード可能です。  
意向調査で所有者の意向が確認できない場合は、遊休農地の固定資産税の評価額が1.8倍以上がる場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

8月に農地パトロールを実施します

【シリーズ】南北朝・菊池一族歴史街道 ⑧

【問い合わせ先】菊池プロモーション室 ☎0968(25)7267

◆大刀洗町

特徴的な町名の由来は、南北朝時代の1359年、肥後の豪族・菊池武光率いる南朝方と筑前大宰府を本拠とする小式頼尚率いる北朝方が、現在の小郡市大保付近で激突した大保原合戦に勝利した武光が、激戦で血に染まった太刀を川で洗った、という故事に由来しています。

◆菊池武光の銅像

大刀洗川のほとりに広がる大刀洗公園には、武光が太刀を



大刀洗公園にある菊池武光の騎馬像

洗った場所とされる菊池渡と昭和12年に建てられた武光の銅像があります。像をよく見ると、あちこちに傷や穴があるのが分かります。これは第二次世界大戦中の昭和20年3月大刀洗飛行場空襲によりできたものです。

◆三原城

三原城は石垣を高く積んで、天守閣を持つような城ではなく、屋敷を堀で囲んだ館です。今でも堀の跡が残っています。

天正14(1586)年に、当主三原紹心が太宰府の四王寺山の岩屋城で鹿兒島の島津軍との戦いで討ち死にし、城としての役目は終えました。平地にある城(館)で堀がはつきり残っているのは福岡県内では三原城だけ、大変めずらしい遺跡です。

平安時代より栄えた三原家代々の居城・三原城があった本郷地区は、現在も昔ながらの街並みがたくさん残っています。白壁造りの家や寺社仏閣、醤油の蔵元、酒造など、歴史情緒あふれる景観が広がります。

◆絵画連作◆ 幻の都 城下町菊池

絵・文／橋本以蔵

第二章 菊池十八外城 ～菊池本城を守る砦～



【場所】七城町加恵 正光寺城

かつては小高い丘があったそうですが、石碑や五輪の塔しか残されていません。増永城と食糧確保や船運で連携した城だそうですが、迫間川と菊池川の合流点に近い場所で、水が豊富な代わりに湿地に悩まされたのではないのでしょうか。

協力隊フェイスブック



vol.65 || きくち暮らしコーディネーター 甲斐 友彦さん

また、昨年度に過疎指定された旭志地域。これまでの空き家調査とアンケートを踏まえ、今年度は調査の深堀と空き家の賃貸化を進めるために地域に入って活動していきます。旭志地域の皆さま、ご協力いただけたら幸いです。

「TATE.BASE」のインスタグラムはこちらから →

「九州移住ドラフト会議」菊池市で開催決定!

昨年度、地域おこし協力隊の2人が連携し、初参加した「九州移住ドラフト会議」。昨年のアピールもあり、今年度は「指名会議」(11月25日(土))の会場に菊池市が選出されました! 移住希望者や関係者、延べ100人以上が来菊します。菊池の魅力やPRし、今年こそ優勝を目指します。

【問い合わせ先】地域振興課 ☎0968(25)7250

地域おこし協力隊通信

古民家利活用とまちづくり ～TATE.BASEの改修～

地域のひとと地元の高校生たちが、まちなかで楽しめる場所をつくるプロジェクトを立町の古民家で始動しています。高校生たちが、何があれば楽しめるかを自分たちで考え、DIYのワークショップを開催し、実際に居場所を作り上げます。そして、地域の人にも憩えるような場所として、みんなで育んでいくことを目指しています。



TATE.BASE (限府240)寿会館隣り

DIYに関心のある人、みんなと楽しみたい人、高校生だけでなく、大人も子どもも大募集! TATE.BASEの情報はインスタグラムで発信しています。